

2026年4月24日

各位

JX金属株式会社

ＪＸ金属株式会社による東邦チタニウム株式会社の完全子会社化について  
(東邦チタニウム臨時株主総会の承認可決に関するお知らせ)

ＪＸ金属株式会社（代表取締役社長：林 陽一、以下「当社」）と東邦チタニウム株式会社（代表取締役社長：山尾 康二、以下「東邦チタニウム」）は、本年2月25日開催の両社の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、東邦チタニウムを株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」）による経営統合（以下「本経営統合」）を行うことを決議し、同日、両社間で株式交換契約および経営統合契約を締結しておりましたが、本日開催の東邦チタニウムの臨時株主総会において、本株式交換契約の承認を得られたことから、本年6月1日を効力発生日として本株式交換を実施することとなりました。

当社グループは、「2040年ＪＸ金属グループ長期ビジョン」で掲げる半導体材料・情報通信材料のグローバルリーダーを目指し、半導体・情報通信分野に欠かせない銅やレアメタルを原料とする先端素材の開発・製造・販売をグローバルに展開するほか、資源開発や、製錬・リサイクル事業を推進しております。一方、東邦チタニウムは、「チタンと関連技術の限りない可能性を追求し優れた製品とサービスを提供し続けることで持続可能な社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、航空機や電力・化学プラント向けスポンジチタンやインゴットを中心とした金属チタン事業に加えて、チタン精錬における中間原料や関連技術を活用した触媒事業、化学品事業を手掛けております。

本経営統合により、従来の両社の関係では実現し得なかった多様なシナジーの創出が可能となると見込んでおります。今後は、両社の経営資源をこれまで以上に結集させ、長期的な視座に立った意思決定を柔軟かつ迅速に行う体制を構築し、グループ一体となって企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

以上

<参考>

2026年2月25日付プレスリリース「[ＪＸ金属株式会社による東邦チタニウム株式会社の完全子会社化について](#)」